

第2期オーガニックなまちづくりアクションプラン

木更津 SDGs 推進モデル ORGANIC CITY PROJECT 取組結果（総括）

第2期アクションプランでは、地産地消な暮らしの定着、安心・安全でおいしい木更津ブランドの確立、まちのCO₂排出削減、災害時の安心・安全の確保に向けた取組において、進捗を図ることができました。

今後、この流れを加速化するため、令和12年（2030年）を目標年次とするあるべきまちの姿「自然に寄り添い、学び、経済が循環する自立した共生社会」の実現に向け、人と自然の調和をデザインし、経済・環境・社会の三側面の自律的好循環を生み出すため、市民のネットワークを強化しながら、必要な取組を重点的に推進します。

1 経済循環を高める食×農プロジェクト

(1) プロジェクト目標

地産地消な暮らしの定着

指標名	2023年度（目標）	2023年度（実績）
木更津産農産物や農産物加工品を意識して購入する人の割合	60.0%	52.7%

安心・安全でおいしい木更津ブランドの確立

指標名	2023年度（目標）	2023年度（実績）
環境に配慮した農業に取り組む生産者数	40人	11人

※有機 JAS 認証又は千葉県エコファーマー認定を取得した生産者数

※2023年度（実績）は、令和4年7月1日よりエコファーマーの新規申請及び更新申請ができなくなったため（持続農業法の廃止に伴う）、有機 JAS 認証取得者数のみ記載

(2) 取組の評価

- ① 市民、団体、企業等にご協力をいただき、環境に配慮した食生活の推進や学校給食における有機米の提供をはじめとした地産地消の推進、家庭・地域・学校が連携した木更津ならではの食農教育の推進など、市民一人ひとりの「食」を選択する力を育む取組を進めました。
- ② 令和4年度（2022年度）から令和8年度（2026年度）までを計画期間とする「食育推進計画」及び「食育推進アクションプラン」を策定し、木更津市食育推進協議会を組織する関係団体等が主導的に計画を推進しています。

- ③ 農業従事者の高齢化や担い手不足、それに伴う耕作放棄地の増加、また、有害鳥獣による農作物被害の増加や度重なる自然災害の発生等農業を取り巻く課題に対し、環境問題や安心・安全な食への意識の高まりを背景に有機農業を推進するとともに、有機JAS認証取得の促進や道の駅「木更津 うまくたの里」の木更津産農林水産物を使用した新商品開発など農産物の付加価値向上を図りました。

合わせて、6次産業化の推進により、農産物のブランド化による農業経営の安定化や新規就農者の増加につなげました。

- ④ 電子地域通貨アクアコインに関し、加盟店数、利用金額、加盟店間取引コイン数を取組指標として設定し、普及促進に取り組みました。

取組指標は目標値の達成には至りませんでした。いずれの数値も増加し、域内経済の好循環に寄与することができました。

(3) 推進した取組と取組指標の達成状況

各取組で設定した目標値に対する達成状況は、10の取組中6つの取組となっています。

プロジェクト目標	施策	取組	区分
地産地消な暮らし の定着	1 食育の推進	(1) 学校給食の地産地消の推進	
		(2) 有機米を使用した学校給食の提供	○
		(3) 地域食材に親しむ機会の醸成	
		(4) 食育の啓発	○
	2 域内消費の 拡大	(1) アクアコインの普及促進	
安心・安全でおい しい木更津ブラン ドの確立	3 環境保全型 農業の推進	(1) 有機米の生産促進	○
		(2) 有機農業の推進	○
		(3) ICTを活用した鳥獣被害対策	○
	4 産業・創業 支援の充実	(1) 6次産業化の推進	○
		(2) らづ-Biz支援の充実	

※ 目標値を達成した取組は、「区分」欄に○印を付している。

2 木更津発 脱炭素化プロジェクト

(1) プロジェクト目標

まち全体でCO₂の排出削減に向けて

森里川海とつながるライフスタイルを取り戻す

指標名	2023年度(目標)	2023年度(実績)
本プロジェクト実施によるCO ₂ 削減量	54,212.80 t-CO ₂	1,299.96 t-CO ₂

※プロジェクト目標及び取組指標で掲載するCO₂削減量は、環境部の算出。

(2) 取組の評価

- ① 脱炭素化に向けて各取組を推進しましたが、プロジェクトの成果指標として設定した「プロジェクト実施によるCO₂削減量」は、目標値の達成には至りませんでした。
- ② エネルギーの地産地消に向けた公共施設への再生可能エネルギーの導入については、P
PA事業等により、事業者と連携し15施設で導入しましたが、施設の老朽化等のため、
予定していた施設への設置が進みませんでした。
また、地域電力会社の設立については、電力の需給バランスにより市場価格の変動リ
スクが生じることから、導入の判断には至っていません。
- ③ 循環型社会の形成に向けた取組については、生ごみ処理機を購入し、設置した市民に対
し、その費用の一部を助成することにより、各家庭のごみ排出量の抑制に取り組むととも
に、リサイクルフェアや出前講座の開催等により、ごみの発生回避(Refuse:リフ
ューズ)・発生抑制(Reduce:リデュース)・再使用(Reuse:リユース)・再資源
化(Recycle:リサイクル)の4Rの推進に向け、啓発事業に取り組みました。
- ④ エコライフスタイルの推進については、令和4年度(2022年度)から市内小学5年
生向けの「めざせ!ゼロカーボンシティポスターコンクール」を開始するなど、新たに地
球温暖化に関する環境教育・環境学習に取り組みました。
市の職員を対象に行っているエコ通勤については、取組を市内の事業所に広げる計画で
したが、実施には至っていません。
- ⑤ 自然資本の保全・活用については、計画期間中に森林所有者への整備の意向確認を進め
るとともに、市民活動団体が実施する盤洲干潟のクリーン作戦への支援、サイクルツアー
の開催など、豊かな自然に触れあいながら保全活動につなげました。

(3) 推進した取組と取組指標の達成状況

各取組で設定した目標値に対する達成状況は、11の取組中1つの取組となっています。

プロジェクト目標	施策	取組	区分
まち全体でCO ₂ の排出削減に向けて	1 エネルギーの地産地消の推進	(1) 公共施設への再生可能エネルギーの導入	
		(2) 自立・分散型エネルギー社会の構築	
		(3) 住宅用再エネ・省エネ設備の導入支援	
	2 循環型社会の形成	(1) ごみ減量化の推進	
		(2) 4Rの啓発	
	3 エコライフスタイルの推進	(1) クールチョイスの啓発	
		(2) エコドライブの推進	
		(3) エコ通勤の推進	
	森里川海とつながるライフスタイルを取り戻す	4 自然資本の保全・活用	(1) 森林の保全・活用
(2) 干潟の保全・活用			○
(3) 自然の景観活用			

※ 目標値を達成した取組は、「区分」欄に○印を付している。

※ 4Rの啓発（目標値：ごみの排出量（1人1日当たりごみ排出量））は現在算定中。

3 支え合いによる防災・減災プロジェクト

(1) プロジェクト目標

災害時に向けた安心・安全の確保

指標名	2023年度(目標)	2023年度(実績)
市が取り組む「防災対策」の市民満足度	40.0%	31.3%

(2) 取組の評価

- ① 市民一人ひとりの防災意識の向上や自治会、地区まちづくり協議会、自主防災組織等との相互支援による自助・共助の防災体制の確立をめざし、各取組を推進しましたが、プロジェクトの成果指標として設定した「市が取り組む「防災対策」の市民満足度」は、目標値の達成には至りませんでした。
- ② 市の総合防災訓練に合わせ、市内全地域で自主防災訓練が行われました。また、「きさらび防災フェスタ」の開催や出前講座の実施等による啓発に取り組みました。
- ③ 避難対策として、避難行動要支援者の世帯別避難カルテや防災ハザードマップを整備するとともに、避難所開設用品や災害用備蓄用品の拡充に取り組みました。
- ④ 災害時における無人航空機等による被害状況把握や被災者支援、一時避難施設、物資供給などに連携して取り組む様々な企業等と、計画期間中に24件の災害時応援協定を新たに締結しました。
- ⑤ 地域防災力の強化に向けた、千葉県防災対策コーディネーターの育成、地区まちづくり協議会による避難所運営マニュアルの作成については、進捗を図ることはできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、取組指標は目標値の達成には至っていません。
- ⑥ 福祉避難所については、計画期間中の新たな施設の確保には至っていません。

(3) 推進した取組と取組指標の達成状況

各取組で設定した目標値に対する達成状況は、15の取組中4つの取組となっています。

プロジェクト目標	施策	取組	区分
災害時に向けた安心・安全の確保	1 防災意識の向上	(1) 防災リーダーの育成	
		(2) 防災訓練の実施	○
	2 災害弱者への支援	(1) 世帯別避難カルテの整備・運用	
		(2) 福祉避難所の確保	
	3 共助の仕組みの構築	(1) 避難所運営マニュアルの作成支援	
		(2) 自主防災組織への支援	
		(3) 地区まちづくり協議会への支援	
	4 企業・団体等との連携促進	(1) 企業等との連携	
		(2) 災害発生時の米提供者の登録制度の実施	
		(3) 災害用井戸提供者の登録制度の実施	
		(4) 市民活動団体とのネットワークの構築	
	5 市の災害対応レベルの向上	(1) 市職員の防災意識向上	○
		(2) 防災ハザードマップの整備・運用	○
		(3) 情報発信の強化	○
		(4) まちづくりへの防災・減災の強化	

※ 目標値を達成した取組は、「区分」欄に○印を付している。